

充電エネマネ

充電タイミングを賢くコントロール

主な導入効果

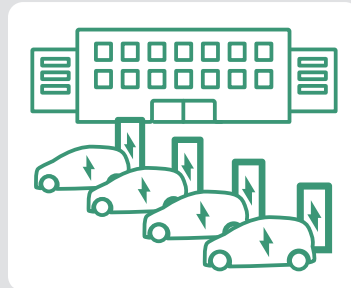
電力基本料金の上昇を抑制

設備増強を低減

詳しくはこちら



こんなお客様におすすめ



営業車を持つ法人企業



地方自治体



運送会社

充電サービス

充電量・CO₂削減量を見える化

主な導入効果

充電器の管理負担を軽減

公平な充電器運用をサポート

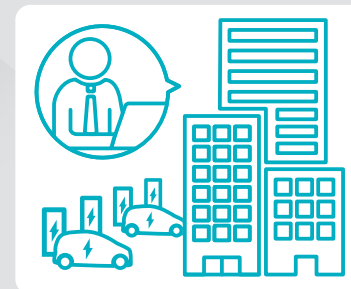
詳しくはこちら



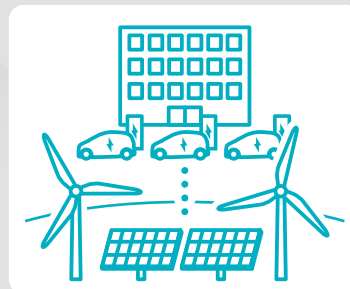
こんなお客様におすすめ



マンション管理会社



施設運営会社



エネルギー会社

●このカタログの記載内容は2026年3月現在のものです。●仕様・外観は予告なしに変更することがあります。●商品の色は印刷の関係で若干異なる場合がありますので、ご了承ください。

製造元 **株式会社デンソー**
本社 〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1-1

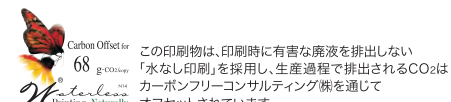
販売元 **株式会社デンソーソリューション**
本社 〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1-1

■本カタログに関するお問い合わせは

お客様窓口 **03-6367-3808**

受付時間 9:00~12:00/13:00~17:00 (デンソーソリューション指定休業日を除く)

お客様窓口における個人情報のお取り扱いについて 当社及び業務を委託する協力会社(以下「当社」)は、お客様の個人情報やお問い合わせ内容をアフターサービス等の確認や対応のために利用し、その記録を残すことがあります。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供致しません。



430020-001-00 63-1A

DENSO
Crafting the Core

EV充電エネルギー管理サービス「EVECOM」

2026.3



つながるEV、ひろがる社会

EVECOM
by DENSO



EVECOMとは

EVECOMは「EV」「エネルギー」「コミュニティ」を融合させた造語で、人・EV・環境・サービス繋がりが合い、コミュニティコンセプトを掲げ、未来に

「EV」「エネルギー」「コミュニティ」を融合させた造語で、人・EV・環境・サービスがとして新たな価値の創出を目指しています。「EVのある暮らしの輪を広げていく」という向けてEV社会の普及を支えています。

充放電
エネマネ

充電タイミングを賢くコントロール



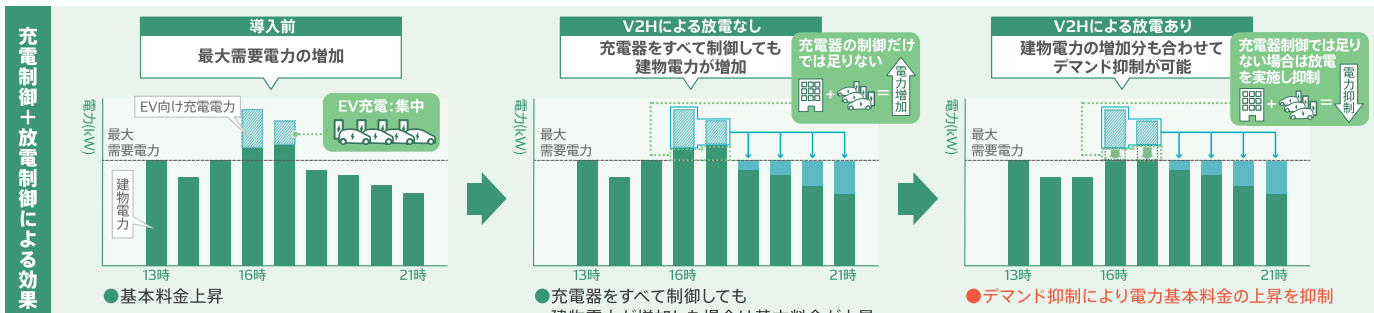
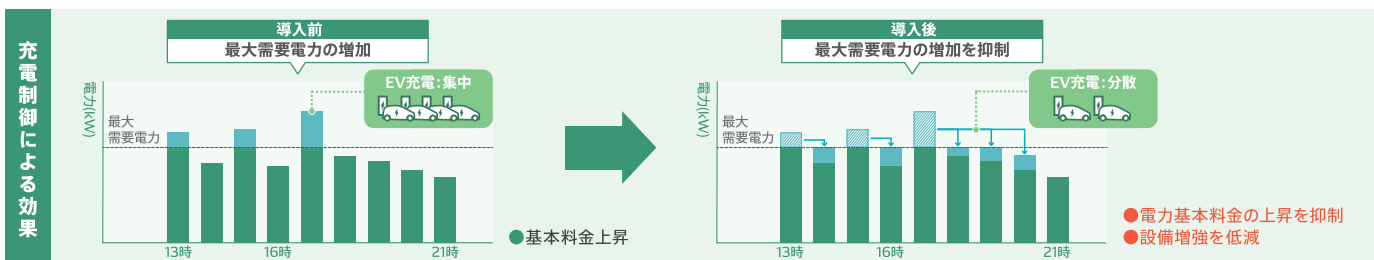
充電
サービス

充電量・CO₂削減量が見える化



EVECOMの充放電エネマネは、建物全体の電力を監視してEVの充電時間を分散。さらに、充電制御だけではデマンド目標値を超過してしまう場合、V2H-充放電器に接続されたEVから電力を供給する「放電ピークカット」を行い、基本料金の上昇を抑制します。さらに充電量とCO₂削減量が見える化し、EV導入を支援します。

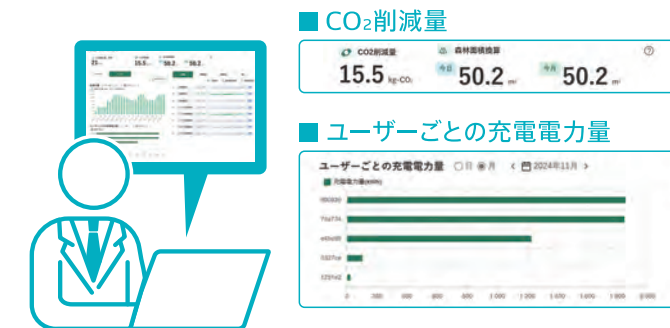
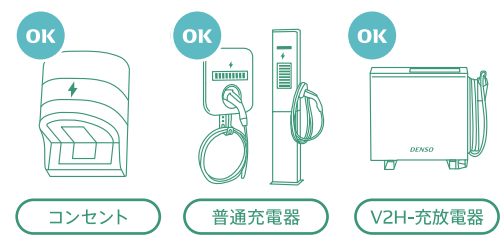
EVECOMの充電サービスは、認証・計量機能により「誰が」、「いつ」、「どの充電器で」、「どれだけ」が見える化し、充電器管理の負担を軽減。さらにCO₂の削減量が見える化や充放電エネマネ機能により、コストを抑えつつ、カーボンニュートラルの推進をサポートします。



※放電ピークカットの実施には、デンソー製V2H-充放電器の設置が必要です。※エネマネ時にEVがV2Hに接続されていることが必要です。※デマンド目標値を超過しないことを確実に保証するものではありません。※V2H-充放電器の放電先の負荷状況により、放電量が制限されることがあります。※グラフはイメージです。

EV導入を推進。多様な充電器対応

EVECOMは、さまざまな種類の充電器と連携可能。既存の充電器や新規導入の充電設備にも対応可能なため、お客様のニーズや施設の条件に合わせた運用を提案できます。これにより、充電インフラの一元管理が簡単になり、EV導入やエネルギー管理の負担が軽減されます。 ※充電器によっては接続できない場合があります。



WEBアプリで手軽に充電

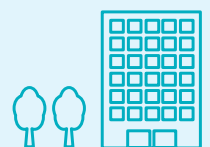
充電操作がシンプルな点もEVECOMならではのうれしさの1つ。WEBアプリから充電器を選択し、「充電開始」をタップするだけ。満充電で自動停止するので、ガソリン車のように待機も不要。利用者にとっても負担のない運用が可能です。



集合住宅ではこんな使い方

不公平感の解消

通常、充電器を設置した場合、住民全体で使用料を負担するケースが多いですが、EVECOMをご活用頂くことでEV充電器を使用した本人のみが料金を負担する運用が可能です。これにより住民間での不公平感を解消します。 ※利用者への使用料の請求はお客様にて実施いただけます。



他のシステムとの連携も可能

API連携により、お客様の車両運行、車両予約システム等と連携が可能。これにより、既存のシステムとの情報共有を実現し、車両管理や運行計画を一元化。社有車の運用効率を高め、管理負担を軽減します。

